

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生理機能検査学Ⅰ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	野邊 八重子 ※
授 業 概 要					
政令で定める神経筋機能検査および感覚機能検査を円滑に実施するための知識を修得する。生体機能情報を収集するための理論と実際、そして結果の解析と評価をできるようにする。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・検査目的の対象となる臓器の構造と機能を説明できる。 ・測定目的、操作方法を説明できる。 ・測定波形の判読法を学び臨床的意義を説明できる。 					
実務経験のある教員					
野邊 八重子：病院での臨床経験を踏まえ、生理学的検査の役割、患者接遇を概説する。また、聴覚検査、眼底検査、平衡機能検査および筋電図検査を概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	生理学的検査の目的と技師の役割 患者の心理と対応				野邊 八重子 ※
2	聴覚検査				
3	味覚検査、嗅覚検査				
4	眼底検査				
5	平衡機能検査Ⅰ				
6	平衡機能検査Ⅱ				
7	直腸肛門機能検査、消化管内視鏡検査（組織検体の採取手技を含む）				
8	筋電図検査Ⅰ：筋電図の基礎、針筋電図				
9	筋電図検査Ⅱ：筋電計の構造と取り扱い				
10	筋電図検査Ⅲ：針筋電図異常所見				
11	筋電図検査Ⅳ：神経伝導検査基礎				
12	筋電図検査Ⅴ：神経伝導検査の種類				
13	筋電図検査Ⅵ：神経伝導検査異常所見				
14	筋電図検査Ⅶ：反復神経刺激試験				
15	運動誘発電位検査				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び配付資料を用いた授業を行う。 ・事前に関連部分の教科書を読んで予習しておくことが望ましい。 ・講義後に配付資料と教科書の関連部分を読んで復習すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は教育上不利益にならないよう考慮する。 ・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子 他 医歯薬出版 [資料] 配付資料					